

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '民生委員児童委員協議会助成事業' and '地域福祉の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the organization's role and activities.

Table with 3 main sections: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか). Includes performance indicators and targets.

Table for (3) 投入量 (事業費) の推移. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

Table for 事業費の内訳. Shows 27年度事業費実績 (千円) and 28年度事業費予算 (千円) with a total of 4,835.

Table for (4) 当該年度の実施内容. Includes 28年度, 29年度, and 30年度の事業内容. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '未来PJ事業'.

事務事業名	民生委員児童委員協議会助成事業	事務事業No.	20301000471	所属課	社会福祉課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? <ul style="list-style-type: none"> ・合併以降平成19年度までは地区活動として、各支所保健福祉課が事務局を担い運営されていた。平成20年度の機構改革に伴い、事務局が社会福祉課社会福祉係に一化された。平成24年度には社会福祉グループに引き継がれ現在に至る。 ・少子高齢化の進展、単身世帯の増加等社会環境が変化するなか、重要な役割を担う民生委員児童委員及び主任児童委員の活動の推進に今後とも努めていかなければならない。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員及び主任児童委員の役割は、地域福祉の推進に不可欠であり、今後、福祉施策の複雑化に伴い、ますますその果たす役割は大きい。 ・東日本大震災時には、要援護者の安否確認、援護活動等迅速な対応に対し、改めて民生委員児童委員への感謝の声があり、身近な存在としての評価を得た。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 民生委員児童委員協議会助成事業は、市第1次総合計画に定める目的である地域福祉の推進の記述にも合致する。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である きめ細かい地域福祉の推進に民生委員児童委員及び主任児童委員の活動は不可欠であり、各種研修を行う等の運営に伴う公費投入は必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 民生委員児童委員及び主任児童委員の活動は多種多様であり、制度の理解と資質の向上、活動への積極性・継続性の高揚を図っていくことが求められる。3地区の活動の平準化や他民児協との交流を図ることにより、成果を向上させる余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 民生委員児童委員及び主任児童委員の活動は、地域の福祉全般を担う重要な活動であり、廃止・休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地域に根ざしたきめ細やかな活動を行うことができる地区活動が基本であり、現状の連合協議会活動、3地区協議会活動を継続していくこととなる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 民児協の活動は、多種多様であり、ケースバイケースの対応が求められるが、現在各地区ごとに行われている定例会(必要な知識を身に付けるための研修会)開催を3地区合同で行う等することにより、事業費・人件費を削減することができると思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 民生委員児童委員連合協議会及び3地区民生委員児童委員協議会は、市の福祉施策全般にわたる各種福祉サービスに関連する市民と行政担当部局とをつなぐパイプ役としての重要な役割を果たしているため、公平・公正は保たれている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・市の福祉施策全般にわたる各種福祉サービス、市民と行政担当部局とをつなぐパイプ役としての重要な役割を果たしている。 ・活動は多種多様であり、資質の向上、活動への積極性・継続性の高揚を図っていくことが求められる。3地区の活動の平準化や他民児協との交流を図ることにより成果を向上させ、合同定例会により事業費等の削減ができる。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・民生委員児童委員及び主任児童委員は、行政の各種調査・協力をはじめ、福祉行政とは密接な関係にある。市の福祉施策全般にわたる各種福祉サービスに関連する、市民と行政担当部局とをつなぐパイプ役としての重要な役割を果たすなかで、委員の資質の向上が不可欠であり、単に効率性を求めるだけで良いのか、十分な話し合いを行いながら進めていかなければならない。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---